

## 被災時の臨時通信手段

レジリエントな防災 ・減災機能の強化

課題⑥

## システム(研究開発)の概要

IP-PBX(交換機)・Wi-Fiアクセスポイント(無線機)・ルータ (インターネット通信機器)をICTユニットとしてパッキングし、 誰でも短時間で構築できるよう自動化・手順化を行う。

の提供

## 社会実装形態

通信途絶時に衛星通信とセットで装備することで、被災者が 普段使いのスマートホンを使用して、インターネットや音声通 話が行えるようにする。



## 2016年4月熊本地震での通信手段の提供

- アタッシュケース型ICTユニットにより、高森町役場の職員執務室と住民が利用する共用スペースに通信環境を提供した。
- 携帯キャリア通信網が整備される前に利用できるためには、より早いタイミングでのサービス提供が必要であり、そのため には自治体や全国各地の総合通信局などへの日常配備計画を検討・推進する必要がある。



インターネット 接続サービス



住民が共用スペースでインターネット

リーで利用 可能





ドコモ衛星携帯電話×ICTユニット

音声通話 サービス



マートホン を利用(普 段使いの 電話番号 が利用可 能)

自前のス

職員が自席で電話

▶ 超高速イン ターネット衛 星WINDS > キャリアフ